

令和2年度 愛知県立大府もちのき特別支援学校 高等部入学者選考募集要項

1 応募資格

知的障害者で、特別支援学校の中学部若しくは中学校を卒業したもの（令和2年3月卒業見込者を含む）又はこれと同等以上の学力があると認められるもの。

2 募集人員

約51人

3 入学願書・調査書等の交付

入学願書及び志願先の校長が必要と認める書類は、志願先の学校において交付する。受取者は、出身学校の教員とする。

4 入学願書・調査書等の交付開始日

令和2年1月8日（水）から1月15日（水）までの午前9時から午後4時まで

5 入学願書・調査書等の受付期間

令和2年2月7日（金）から2月14日（金）までの午前9時から午後4時まで

6 入学願書・調査書等の提出

- (1) 本校に直接、出身学校の教員が提出する。やむをえない事情を除き、原則として郵送は認めない。
- (2) 調査書は、校長宛で提出する。（親展扱い）
- (3) 県外からの入学志願者は、出身学校長等が作成した理由書を入学願書に添えて提出する。

7 選考期日

令和2年2月20日（木）

8 選考会場

愛知県立大府もちのき特別支援学校

9 選考内容

個人面接及び運動能力検査

10 選考結果の発表

令和2年2月27日（木）午前10時 愛知県立大府もちのき特別支援学校にて（併せて在籍学校、本人及び保護者に通知する。）

11 病気、事故等に係る特別措置

- (1) 原則として、令和2年度愛知県立高等学校入学者選抜実施要項に準じる。
 - ア 出身中学校長から「受検上の配慮に関する申請書」の提出のあった入学志願者については、これに基づき、受検上の配慮をする。
 - イ 入学者選考当日に指定された場所で受検できない場合には、保健室または病院において受検することができる。（病院での受検は、「受検上の配慮に関する申請書」に加え「医師の診断書」が必要となる。）
- (2) 原則として、志願者全員が受検できるように配慮する。
- (3) 入学者選考当日（受検中を含む）、急病または交通事故等やむをえない理由により来校に支障をきたす場合に限り、校長の承認を得て、原則として以下の措置をとる。
 - ア 急病、交通事故等の場合
 - (イ) 遅刻者のみ、日程を調整する。
 - (ロ) 当日受検できない場合は、追検査を受ける。（「13 追検査」参照）
 - イ 受検中の急病、事故等の場合
 - (イ) 時間を遅らせ、受検することができる。
 - (ロ) 当日受検できない場合は、追検査を受ける。（「13 追検査」参照）

12 降雪等の場合の対応

- (1) 原則として、予定の日程で実施する。
- (2) 朝の降雪による遅れ
 - ア 受付は、予定の日程で実施する。
 - イ 志願者の本校への到着の状況を勘案して、日程を再度検討する。

13 追検査

追検査については、次のとおりとする。

- (1) 実施期日
令和2年2月26日（水）
- (2) 選考会場
愛知県立大府もちのき特別支援学校
ただし、校長が認めた場合には、保健室または病院で受検することができる。（上記「11 病気、事故等に係る特別措置」参照）
- (3) 受検の手続き
 - ア 追検査を希望する者は、追検査願書及び受領済みの受検票に、医師の診断書等の追検査を受ける理由を証明するものを添え、令和2年2月20日（木）午後4時まで、出身学校長を経て愛知県立大府もちのき特別支援学校長に提出する。
 - イ 追検査受検者の扱いについては、入学者選考の結果を含めすべての点において、すでに受検した者と同様とする。
 - ウ 追検査受検者の扱いについては、入学者選考の結果を含めすべての点において、すでに受検した者と同様とする。

14 警報等発令時の対応

- (1) 学区（大府市、東浦町、東海市、豊明市）に、「大雨警報」「洪水警報」「暴風警報」「大雪警報」「暴風雪警報」が発令された場合
原則として、予定の日程で実施する。在籍学校より連絡のあったものについては、上記13 追検査の手順と同様とする。尚、この場合については、理由を証明するものは不要である。
- (2) 「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合
検査前に発表があった場合は、選考期日での実施の中止の旨を、各在籍学校へ連絡する。
検査中に発表があった場合は、学校長に確認の上、ただちに検査を終了する。
検査未実施の項目のある受検者については、追検査日に対応する。
- (3) 「全国瞬時警報システム（Jアラート）」が発令された場合
上記14(2)と同じ対応を行う。

15 その他

状況に応じて、愛知県教育委員会特別支援課と相談の上検討する。